

# 新説桃太郎合戦

B  
バー  
ジ  
ョ  
ン

作／亀山 空

桃太郎

鬼くん

みな子先生

先生

子どもたち

先生の声　絵本、読んでほしい人、この指とーまれ！  
子どもたちの声　はーい！

子供たちが集まった。その中に桃太郎くんと鬼くんがいて、その二人だけ舞台の上で見えている。

先生の声　みんな、何を読んでほしい？

子どもの声1 浦島太郎！

子どもの声2 大きなカブ！

子どもの声3 三匹の子豚！

鬼くん (手を挙げて) 醜いアヒルの子がいいなあ。

先生の声 何が良いの？

桃太郎 はい！

先生の声 はい、桃太郎くん。

桃太郎 桃太郎がいい。俺の名前、鈴木桃太郎。

子どもたちの声 おー。

先生の子 じゃあ、桃太郎にしようか。これは、本当にあったお話なんだよ。(咳払い) 昔々、あるところに、おじいさんとおばあさん

がおりました。おじいさんは山に柴刈りに、おばあさんが川に洗濯に……

鬼くん、一人子供たちの輪を離れ、積木ブロックのところに来て、何かつくり出す。できた。

鬼くん 先生！ みな子先生！

先生現れる。

鬼くん 来て！ 早く！ みな子先生！

みな子先生 はい、来たよ。どうしたの？

鬼くん これ、先生のお城。つくったの。

みな子先生 (感動して) 鬼くんがつくったの？ ありがとう！ お城、入ってみてもいい？

鬼くん うん。ここから入るんだ。(ハイハイで入るマイム。お城の前に座る)

みな子先生

(同じく入る)

鬼くん

ねえねえ。(肩をたたいて、耳打ちする)ぼく、みな子先生が、だあい好きだ。

みな子先生

(微笑んで)みな子先生も、鬼くんが、だあい好き……………

桃太郎、城を後ろから壊す。

桃太郎

桃太郎、参上!

鬼くん

あー!

みな子先生

こら! 桃太郎くん、行けません。

桃太郎

俺にもやらせろよ、ブロック。

鬼くん

すー、はー、すー、はー、(泣きそう)

みな子先生

鬼くん、ブロックを桃太郎くんに分けてくれるかな?

鬼くん

(気を取り直して)うん!

みな子先生

はい、じゃあ線を引きまーす。ここからこっちは、鬼くんの陣地。こっちは、桃太郎くんの陣地ね。

鬼くんのブロックは、四角いブロックばかり。桃太郎のは、多様なブロック。

二人

はい。

先生の声

みな子先生、ちょっと来てもらえますかー?

みな子先生

二人、すぐに戻るから、それまで仲よく遊んでね。(その場を離れる)

二人

はい!

二人は自分のブロックを互いのブロックから引き離すと、遊び始める。

みな子先生

はい、はい、………はい。鬼くんは人間の子たちとは、うまくやってみたいです。でも、ときどき、喧嘩をします。特に桃太郎くんとはよく………。私も同じ気持ちです。何事もなく、このまま………何事もなく過ごせたら、それが一番いいんですけど。

桃太郎

おい！

みな子先生、二人の方を見る。

鬼くん

………。

桃太郎

無視するなよ。俺のブロックとっただろ！返せよ。（三角形のブロックを取りに行く）

鬼くん

（邪魔する）ここからこっちは俺の陣地だぞ。

桃太郎

知るかよ！（取って帰る）

鬼くん

君は三角二つあるんだから、一つくれよ。

桃太郎

先生が決めたんだ。とったら、先生に言うぞ。

鬼くん

（我慢できなくなって、桃太郎の頭をポカ）

桃太郎

（頭を押さえて、先生に言いつけるぞ、という顔で）あー！

桃太郎、「あー！あー！あー！」と言いながら退場。木の枝を持ってくる。

桃太郎

えい！えい！（鬼の角を切る）

鬼くん

なに、それ？

桃太郎

日本刀だ。鬼くんの角、切っちゃうぞ。えい！

鬼くん

わあ、やめてえ！（角を押さえ、逃げる。もっと大きな枝を持ってくる。）えい！

えい！

桃太郎  
なに、それ。

鬼くん  
これ、青龍刀。桃太郎くんのお尻、八つに割れちゃった。

桃太郎  
ひー！（お尻を押さえて逃げる。ロープを持ってくる。）

鬼くん  
なに、それ。

桃太郎  
これ、火縄銃。鬼くんの心臓、狙い撃ち。（狙いを定める）

鬼くん  
待って。待って。（ジグザグに走って逃げる。石を持ってくる）これ、ピストル。バン、バン、バン。

桃太郎  
ぎゃー！（跳ねながら逃げる。パイプを持ってくる）これ、機関銃。ダダダダダ。

鬼くん  
（棒立ち）

桃太郎  
おい、食らってるぞ。負けるぞ。

鬼くん  
いいや。（上を指さす）

### 帰りの音楽

みな子先生  
二人！ お母さんが迎えに来たよ。………何の遊びしてたの？

桃太郎  
遊びじゃない。これは、戦争だ！

鬼くん  
先生、ブロックはこのままにしといて。絶対だよ。

みな子先生  
なんで？

二人  
なんでも！（にらみ合ったまま帰る。）

みな子先生  
男の子って面白い。（散乱した棒や縄を片付ける）

### 翌日

桃太郎  
（三輪車で登場）ガタガタガタ。戦車だぞ！ 鬼くんの体、ぺちゃんこにしてやるう！

ガタガタガタ……

鬼くん (紙切れを持って目をこすりながら現れる) 桃太郎くん、おはよう。

桃太郎 武器は？

鬼くん これ。

桃太郎 へん、紙切れか。勝ったな。ブロックは俺のものだ！

鬼くん ううん、ぼくの勝ち。ほら。ほら。(見せる)

桃太郎 俺、字は読めないよ。

これ、爆弾の設計図。山が燃える。川が干上がる。犬も猫もみんな溶けて、人間がいなくなる。すごい爆弾だよ。桃太郎くんの負け。

桃太郎 (おびえる) そんな爆弾、あるわけないだろ。

鬼くん あるよ。先生！ みな子先生！

みな子先生 はあい。なあに？ (驚いて) えっ。これ鬼くん書いたの？ すごーい。こんなに字が書けるの？

鬼くん うん。読んでみて。

みな子先生 なになに。こ、れ、は、は、ばくだんの、せつけいずです。やまがもえる、かわがひあがる。いぬもねこもみんなとけて、にんげんがいなくなる。そのなも……そのなも……そのなも……

桃太郎 (涙声) そんな爆弾、あるわけないよね？

みな子先生 (真剣な声) 二人、この遊びはおしまい。二度とこんなことしないで！

二人 ……

みな子先生 座って。二人は、人間と鬼のお話は知ってる？

桃太郎 桃太郎が鬼を退治した話だろ？

鬼くん 鬼が桃太郎にいじめられた話だ。

みな子先生 そのあとのお話は、知ってる？

二人、顔を見合わせて、首をふる。

みな子先生

鬼くんのご先祖様と、人間のご先祖様は、戦いの後、たくさん。たつくさん話し合いをして、やっと仲直りをしたの。もう戦いはやめます。って約束したの。そのおかげで、鬼くんと桃太郎くんは、同じ幼稚園に通えるんだよ。だから二人がいままたいなことしてると、先生はとっても悲しい。

鬼くん

でも、でも……………。

みな子先生

でも？

鬼くん

桃太郎くんのブロックは三角と四角と長四角と丸があるのに、僕のは全部四角だったんだ。

桃太郎

みな子先生が線を引いたんだ。

みな子先生

そっかあ。それは悪かった。でも、こういうことって他にもあるよね。鬼くんが先におもちやを取っちゃったら？ 使いたいクレヨンの色を桃太郎くんが持ってたら？ そういうときは、話し合いをしましょう！ 鬼と人間は、持っているものも、見た目も違うけど、話すお口があって、聞くお耳があるのは、一緒だよ。さあ、話してみよう。

桃太郎

やあだねえ！

鬼くん

何を言ったらいいのか、分からないよ。

みな子先生

なんでもいいんだよ。

鬼くん

……………。

桃太郎

……………おはよ。ほらさっきおはようって言っただろ。だから、おはよ。

鬼くん

おはよ。

桃太郎

ごめん。

鬼くん

ごめん！ あそぼ！

二人、それぞれで城を建てます。



みな子先生

何が起こったの……？

やはり鬼くんの城は四角ばかりで味気ない。桃太郎くんは三角形が二つ余ってお城が建たない。

鬼くん

桃太郎くん、一つくれないかなあ。

桃太郎

だめ。(城が建たず、三角形が転げおちる)

鬼くん

うーん……。あつ、このブロックを使ったらいいんじゃない？ (自分の陣地のブロックを渡す。)

桃太郎

ほんとだ！ さんきゅー。はい。(三角形のブロックを渡す。二つの城が完成する。)

二人、ハイタッチ。

みな子先生

よくできました。二人、そこに立って。(二人立つ。先生はスマホを取り出す。二人の友情と、お城の完成を記念して。はい、チーズ。)

二人、写真を撮る前に城を壊し、わいわい言いながら走り去る。

みな子先生

あつ。こら、二人！ もう。(二人を追いかける)

おしまい